

一柳満喜子女史没後四〇年追悼



辿り来し道を

ふりかえりて

一柳満喜子の生涯



ミュージアムコンサート

10月12日 会場：旧伴家住宅

『講談とリュートで綴る～一柳満喜子の生涯～』

この事業は、文化庁『地域文化芸術振興プラン』により実施されます。

11月29日 会場：旧伴家住宅

ファイナーレコンサート実施予定。

2009年10月10日(土)～11月29日(日)

近江八幡市立資料館
第2会場：かわらミュージアム

たど き 辿り来し道をふりかえりて

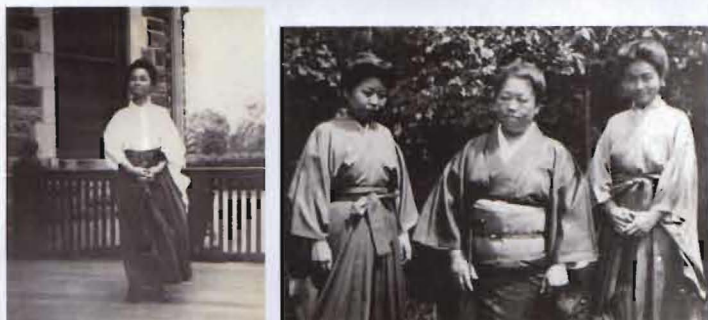
～一柳満喜子の生涯～

教育家一柳満喜子は、ウィリアム・メレル・ウォーリズと結婚し、近江八幡に住み教育事業にたずさわることとなる。「(満喜子)おばちゃん」「満喜子先生」としたわれ、亡くなられてから40年を経た今日も、多くの人々の記憶の中で生き続けている。



しかし、一柳満喜子という人物の、波瀾万丈の人生を知る者は少ない。

幼年期の心悩ます日々、長じてのアメリカ留学。そこでの満喜子の活動を、満喜子自身が自らの人生を書いた、「辿り来し道を振りかえりて」と題する文章や、その他の著作などから紹介する。



あわせて、一柳家と近江八幡の400年に及ぶ不思議な「えにし」も紹介する。

明治時代に生まれ、大正・昭和の時代を生き、今に通用する。いや、むしろ、今だからこそ受け継がねばならない満喜子の教育思想を、ぜひ知っていただきたい。



写真は、左上より、満喜子の母、同父、姉と6歳の満喜子。アメリカ留学時代。津田梅子女史と。アメリカのアリス・ペコンのキャンプにて。メレルとの結婚式。



開館時間／午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

休館日／期間中は、休館日なしの予定です

入館料／資料館：大人500円(400円) 小中学生300円(250円)
かわらM：大人300円(250円) 小中学生200円(150円)
()内は、10名様以上の団体料金

連絡先／資料館：近江八幡市新町2丁目22 TEL.0748-32-7048
かわらM：近江八幡市多賀町738-2 TEL.0748-33-8567

写真提供：財団法人近江兄弟社

近江八幡市立資料館
第2会場：かわらミュージアム